



漂着物アート



活動内容	海浜で自然物やゴミを回収し、木工用ボンドやグルーガンを使って貼りあわせたり、必要に応じて色をつけたりして作品を作ります。楽しく活動をしながら豊かな創造性を培うとともに、つくりだす喜びを味わうことができます。
------	---

対象	時間	活動人数	活動形態	
制限なし	2～3時間	制限なし	一斉	
活動場所	必要引率者	活動適正機関	自然・感性	◎
海浜、各研修室	安全管理	通年	主体・計画	○
			粘り強さ	
			創意工夫	◎
			協調・協働	
			人間関係	

		団体	職員
		【打合】活動場所	【打合】活動場所
事前	集合場所、参加人数、活動内容、着替える場所、海浜出入口の確認、ごみ置き場の場所説明		
活動の流れ	活動	【集合】研修室等 ①説明を聞く(10分) ②海浜清掃(30分～1時間) ・海浜のゴミを回収し、分別を行う ③工作開始(1時間～2時間) ・回収した漂着物から作品に使いそうなものを選ぶ ・木工用ボンド、グルーガンで漂着物を貼りあわせる ・必要に応じて色付けをする 【片付】 使用した道具と活動場所の片付けを行う	【指導】活動上の指導を行う ・工作の説明、諸注意 ・片付け方の説明 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> 回収したゴミを入れる袋にまとめて入れると、工作で使うものを仕分けする時間が必要になるため、あらかじめ班ごとなどでビニール袋などを用意しておく活動がスムーズに行える。 </div>
	事後	【解散】 研修生は引率者の指示に従う 【片付】 貸出物品の返却、活動場所の清掃	※清掃後の海浜清掃用ネットを回収 【片付】 貸出物品の受取
	事後		

引率者の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の管理を行う ・シャワーを使用することができないので研修生が海に入らないよう見守る ・使用した研修室の後片付けの指導を行う
活動の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜清掃に行く場合は、海浜出入口を使用する(砂を館内にあげないため) ・漂着物についての砂を落としてから持って上がる ・活動後のごみは、(燃えるごみ/缶・金属類/ガラス・ビン/陶器)の4つに分ける
「玄海の家」で準備できるもの	海浜清掃用ネット、グルーガン(47)(グルーガンの芯は団体準備)、延長コード、ドラム
利用団体で準備するもの	漂着物(海浜清掃で回収したもの)、軍手、サンダル、木工用ボンド、グルーガンの芯、新聞紙 漂着物を入れる袋(工作で使うもの)、ポスターカラー・油性マジック(色付けする場合)

